

四国支部 研究委員会「コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」の委員公募について

応募期限：2023年6月2日（金）

日本コンクリート工学会 四国支部

日本コンクリート工学会四国支部では、令和5年度から研究委員会「コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」（委員長：徳島大学大学院 橋本 親典、幹事長：(株)キクノ 横山卓哉、幹事：香川県生コン工組 新居 宏美）が発足します。つきまして、下記のとおり委員を公募いたしますので、ふるってご応募ください。

記

1. **応募方法**：E-Mail で下記まで①氏名，②所属・連絡先を送る。
徳島大学大学院 橋本 親典
TEL：088-656-7321
E-mail：chika@ce.tokushima-u.ac.jp
2. **応募資格**：四国支部圏内（香川県，徳島県，高知県，愛媛県）に在住または勤務する四国支部所属会員とする。
3. **応募期限**：2023年6月2日（金）
4. **選考方法**：委員長が行う。
5. **目的および活動内容**：コンクリート工の生産性向上の障害に1つに、レディーミクストコンクリートの受入検査がある。受入検査のうち、スランプ試験は、AIを用いた画像データによる判定技術が検討されている。しかしながら、空気量試験に関しては、あまり進んでいないのが現状である。これに対して、トラックアジテータ車のドラム全体を空気量試験の容器として捉えることで、単位容積質量による空気量の判定ができるのではないかと新しい試みが検討されている。
本研究委員会では、この試験方法の実証実験を四国内の生コン工場で実施し、問題点および解決策を洗い出す。
また、静電容量型加速度センサを内蔵した無線ICタグを用いてミキサ車に積載されたコンクリートのスランプロスの定量化を試みる研究がある。この研究課題についても、本研究委員会で取り扱うこととする。
6. **その他**：研究委員会の活動は原則として2年間とする。